1月の交流会開催 第1部：毎日ホール 第2部：如水会館

第2部・懇親会パーティ会場（如水会館にて）

1月12日（木）、竹橋パレスサイドビル毎日ホールに於いて、第7回竹橋コミュニティスクエア交流会第1部が、会員企業37社68名と、㈱帆風、㈱E&E、㈱ジャパンアートから41名に加え、報道関係者も含めた113名が出席して開催された。

今年初めての、新年会も兼ねて行われるということもあり、始めに㈱帆風・犬養俊輔代表取締役が登壇。コミュニティスクエアの年頭挨拶を―。その要旨は次の通り。

『昨年は、皆様の協力で順調にブースも埋まり、現在残っている9ブースは、竹橋で営業部隊をつくった時に使用するという事でほぼ予定通り。昨年は、初年度としてあるべき形ができたと思います。おかげさまで、帆風の印刷も順調なスタートが切れ、本当にありがとうございます。

今年は「入って良かった」と思っていただけるような形をとっていかなければなりませんので、コミュニケーションと情報収集、それと、現実に実になる仕事をどうしたらいいかという3点を主眼に活動していきたいと思っています。

コミュニケーションに関しては、毎月やっているコミュニティを工夫をしながら、時に、グループディスカッションなども交え、更に進化したコミュニティにしていきたい。情報収集に関しては、業界内外を問わず講演を年に4、5回、それも「聞いて面白かった、ためになった」というものを…。仕事に関しては、ここの

立ち上がりを見ながら、皆様の意見を聞いたり動き方を見て、もう一度吟味して、できれば夏までには営業会社をつくってみたいと…。ただ、昨年もお話しました通り、ここのメンバーを集めると2000億円の商売になっているわけですから、それを工夫していかないのはもったいないということもありまして、常に懇案事項として頭にかかえながら、やる以上は絶対成功させなければならないと…。

当面は、うちのリスクで営業会社を立ち上げて、軌道にのる時点で皆様の出資も受け入れてオープンな会社に変えていきたい。うちが主体の会社であるべきである必要がないと、そういう構想で考えております。帆風自体も、今年は変動の時期でありまして、僕が主体から、役員または幹部が動いて仕事をする体制に切り替えていくべく…。それができれば、側面から違う見方ができる。コミュニティに力を入れてオープンな会社に変えていきたい。うちのメンバーとも接する機会がたくさんあると思いますが、ぜひ、今年も叱咤激励して育てていただきたいと思っています。いまだ未熟な者ばかりで歯がゆい状態ではありますが、この1、2年で良いチームにしていきたいと思いますので、合わせてお願い申し上げます。

今年は、色々な企画で考えていきますし、皆様からもどんどん意見を出していただき、「入って良かった」というカタチをつくり上げたい』。最後に『そのために、あらゆる努力をしていきますので、年末に楽しい1年であったと思えるように一緒に頑張っていきたいと思っております』と結んだ。

次いで、企業プレゼンテーション、JDFセミナー、会計報告が行われ（詳細は本誌2面に記載）、会場を移して懇親会が開催された。

コミュニティスクエアの新しい年がスタート。

会員の感想と、コミュニティへの期待。

交流会参加の皆様に、会の感想やコミュニティスクエアへの期待をお聞きしました。

大阪シーリング印刷(株)　相内和夫氏

飯田橋にある東京営業所と掛け持ちで、ブース担当をしております関係で、昨年は、ブースに在駐する時間をあまりつくることができなかったのが残念です。

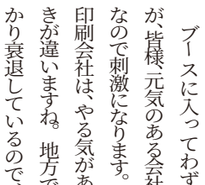
弊社がご提供できるサービスもあるかと思いますし、逆に、サポートをしていただきたい案件も、今後発生していくと思います。

これだけ多くの同業者が集まっていますので、今年は、交流の輪をもっと広げていきたいと思います。

自分の会社のやる事では限界があり、これまでは、営業で話を伺っても弊社のできない要望をうやむやに流していた事も事実でした。しかし、ここに来てまだ半年程ですが、これだけのブースの方が揃うと、必ずどこかの企業さんに引っかかります。弊社が得意でないものを協力してできるメリットはとても大きく、直接、仕事の実績に繋がったこと　はないですが、引き合いの相談もでき助かっています。ただ、半年経ってコミュニティの目指すものが見えてこないのも事実かもしれません。

今年は皆さんが集まって、1つの目標に向けて発進することが必要な年でもあります。

小川印刷(株)　岡本和幸氏(写真右)


(株)渋谷文泉閣　安藤 文成氏

ビジネスにはまだ結びついていませんが、開設して初めての年として考えた場合、昨年の竹橋コミュニティスクエアの活動は良かったのではないでしょうか。

しかも、これだけ多くの様々な企業が集まった環境ですから…。今年は、この会場の活気ある雰囲気を、実務に反映させていきたいですね。

ブースの知り合いもできましたが、より多く深くコミュニケーションを図りたいと思います。

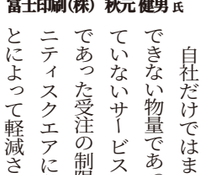
ブースに入ってわずかですが、皆様、元気のある会社ばかりなので刺激になります。東京の印刷会社は、やる気があり目つきが違いますね。地方ではすっかり衰退しているので、竹橋に来ると元気をもらえます。今は、コミュニティにぶら下がるだけですが、渋谷文泉閣さんが元気なんだから、私たちも頑張ろう」といわれる位、自分達から成長していけるようになるのが夢。長い目で見ていただきたい。

コミュニティの会では、新年会をはじめ設備やお膳立ても非常に行き届いていて助かっています。

先端を走る東京の声や、JDFの話など、とても勉強になっています。

(株)ラバーソウル　福留 博氏

マコト印刷(株)　桜本章氏(写真左)


冨士印刷(株)　秋元 健男氏

自社だけではまわすことのできない物量であったり、行っていないサービスなどこれまであった受注の制限が、コミュニティスクエアに参加したことによって軽減されたのは大きいと思います。

ブースから外出していることも多いので、スクエア内で発生した受発注の情報が携帯電話に送られて、確認できるようなスピーディなシステムができたらよいですね。

竹橋という地の利を活かした活動が、スクエアでできたら素晴らしいと思います。

地方からの企業様には、東京支所の第一歩として考えている方も多いようですし、古今東西からの情報が絶え間なく入ってきます。

この中心地からそうして得た情報を各地に広げて、印刷業を活性化させるような情報発信基地の役割ができたなら、それが、参加する皆さんのステータスになるので、そんな共同体もいいんじゃないかと考えています。

セミナー等も、もっと盛んにやっていきたいです。

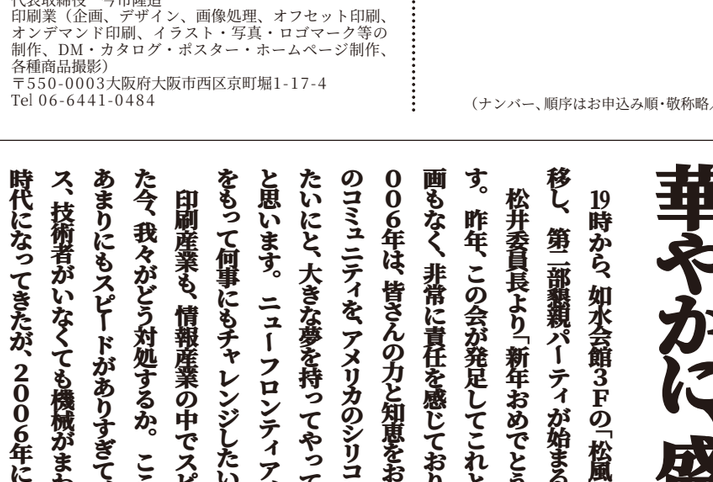
（2面へ続く）

「和」をもって、共存共栄を目指す情報紙。
Takebashi Community Press
竹橋コミュニティプレス
February 2006
7号

平成18年2月6日発行
発行人／犬養 俊輔
発行／株式会社 帆風
編集長／小原 紹一郎
編集／株式会社 帆風　小原デザインセンター
スタッフ／石原 有理・横田 みえこ・井口 健太郎・椎橋 信雄
画像補正／山田豊
CTP印刷／竹橋プリンティングセンター

竹橋コミュニティスクエアのメンバーご紹介

1 株式会社日相印刷
2 三協タックラベル株式会社
3 旭紙工株式会社
4 双葉ネクストワークス株式会社
5 マコト印刷株式会社
6 グラパックジャパン株式会社
7 株式会社あるす
8 株式会社セイコー紙業
9 星野製本株式会社
10 株式会社東京パック
11 敷島印刷株式会社
12 株式会社共栄校正
13 株式会社サンエムカラー
14 株式会社ティシィピー
15 株式会社梅垣ラベルサービス
16 株式会社ウイズプリンティング
17 白山印刷株式会社
18 株式会社日進堂印刷所
19 株式会社東和印刷紙器
20 北斗印刷株式会社
21 ハート株式会社
22 有限会社プロセスレボ
23 株式会社光陽社
24 今野印刷株式会社
25 小川印刷株式会社
26 冨士印刷株式会社
27 大阪シーリング印刷株式会社
28 石本紙工株式会社
29 高山印刷株式会社
30 株式会社大包
31 二葉印刷株式会社
32 株式会社やまとカーボン社
33 株式会社図書印刷同朋舎
34 福博印刷株式会社
35 株式会社ウィルコーポレーション
36 株式会社三幸堂
37 野崎工業株式会社／葉織華印務有限公司
38 株式会社ユーメディア
39 株式会社ラバーソウル／楽伯索羅数馬設計有限公司
40 サン美術印刷株式会社
41 中部印刷株式会社
42 株式会社大和
43 宮下印刷株式会社
44 株式会社サクラ印刷／株式会社ジェイ・エス／株式会社ジャパンブランニングセンター／小鹿印刷株式会社
45 株式会社渋谷文泉閣
46 株式会社 林 欧文堂
47 株式会社 古田デザイン事務所
48 新日本カレンダー株式会社 福州信日華印刷有限公司
49 株式会社昭和堂
50 大陽出版株式会社



51 大享印刷株式会社
代表取締役　五十嵐嘉和
総合印刷業（オフ輪印刷、オフセット印刷、加工一式、企画、デザイン、制作、発送、ストック預り）
〒569-1118大阪府大阪市鶴見区今津北4-13-33
Tel 06-6961-8831

52 株式会社イマイチ
代表取締役　今市隆造
印刷業（企画、デザイン、画像処理、オフセット印刷、オンデマンド印刷、イラスト・写真・ロゴマーク等の制作、DM・カタログ・ポスター・ホームページ制作、各種商品撮影）
〒550-0003大阪府大阪市西区京町堀1-17-4
Tel 06-6441-0484

53 佐川印刷株式会社
代表取締役　佐川正純
印刷業・マルチメディア事業（高品質印刷、オンデマンド印刷、デジタル印刷、企画、デザイン、チラシ、パンフレット、刊行物、DM、看板、ホームページ制作、データベース）
〒791-8018愛媛県松山市問屋町6-21
Tel 089-925-7471

（ナンバー、順序はお申込み順・敬称略／1月19日現在）

懇親会は場所を移して、華やかに、盛大に。

19時から、如水会館3Fの「松風」に会場を移し、第二部懇親パーティが始まる。

松井委員長より「新年おめでとうございます。昨年、この会が発足してこれといった企画もなく、非常に責任を感じております。2006年は、皆さんの力と知恵をお借りし、このコミュニティを、アメリカのシリコンバレーみたいにと、大きな夢を持ってやっていきたいと思います。ニューフロンティア、開拓精神をもって何事にもチャレンジしたい。

印刷産業も、情報産業の中でスピード化した今、我々がどう対処するか。ここしばらくあまりにもスピードがありすぎて、スキルレス、技術者がいなくても機械がまわるという時代になってきたが、2006年になり、もう一度スキルアップという時代になってくる。

そういう時代に、我々がどう対処したらよいのか。今年は、改革精神でもう一度原点に返って、畑を耕し知恵と力を出し合い協力して、世界に羽ばたく組織にしたい。

皆さんの協力を得て、今年一年頑張りたいと思います。宜しくお願いします」と挨拶。

続いて、瀧本副委員長が壇上へ。「一刻も皆さんとコミュニケーションを深め、言いたい事を言い合える間柄になっていきたい。コミュニティの発展を願って！」と声高らかに乾杯を宣言すると、全員の「乾杯！」の声が会場一杯に響いた。

懇親会は立食形式で、3ヶ所の長テーブルに用意された和洋中織り交ぜた料理は品数が豊富。カレーライス、天ぷら、そば、クラブサンド、春巻きや焼き鳥、サザエの壺焼き、また、フルーツやケーキなどデザートも用意されるなどボリュームも満点で、味もおいしいと参加者に大好評だった。

会場全体が人の交流で溢れ、小さな丸テーブルを囲んでいくつもの会話の輪ができ、ビールやワイン片手に談笑する姿が…。いつもの交流会以上に、積極的な新年名刺交換が行われていた。

約2時間もあっという間に過ぎ、湯本副委員長の「皆さんが、今年は良い年になりますように」と、一本締めでお開きとなった。

瀧本副委員長による乾杯の音頭

美味しい料理に舌鼓

思い思いに歓談の時を愉しむ